

仕様 Specification

DPD残留塩素チェッカー

型式	CRP-1000-000Q	表示	LED3桁(赤) 0.3インチ	電池使用回数	5000回以上
測定対象	水道水、プール水等	表示分解能	0.00~1.00mg/ℓの間 0.02mg/ℓ 1.00~2.00mg/ℓの間 0.05mg/ℓ 2.00~3.00mg/ℓの間 0.10mg/ℓ 3.00~4.00mg/ℓの間 0.20mg/ℓ 4.00~5.00mg/ℓの間 0.25mg/ℓ	使用温度範囲	0~40℃
測定項目	残留塩素(塩素、全残留塩素及び結合)	警報機能	5.25mg/ℓ以上「Hi」点灯 0.00mg/ℓ未満「Lo」点灯 電池電圧低下時「---」点滅	使用湿度条件	0~90%(結露しないこと)
測定原理	DPD発色による吸光度法			電源	乾電池(単5アルカリ 4本)
測定範囲	0.00~5.00mg/ℓ			本体材質	ABS樹脂
繰返し精度	±(0.02+表示分解能)mg/ℓ			外形寸法	157[L]×52[W]×38[H]
光源	LEDランプ(緑色)			重量	約185g
測定波長	532nm				
セル	10×12mmガラスセル(バイレックス)				

水質比色検定器(ダイヤル型・ポケット型)

検定器	水質比色検定器 DP2 DPDダイヤル型	水質比色検定器 DO3 PHダイヤル型	水質比色検定器 DP4 両用ダイヤル型	水質比色検定器 PP2 DPDポケット型
用途	遊離残塩	pH	遊離残塩・pH	遊離残塩
品番	PSD-DP20-0000	PSD-DO30-0000	PSD-DP40-0000	PSD-PP20-0000
比色板測定範囲	0.1 0.2 0.3 0.4 0.5 0.7 1.0 1.5 2.0	6.0 6.2 6.4 6.6 6.8 7.0 7.2 7.4 7.6	*DP2及びDO3と同様	0.1 0.2 0.4 1.5
外形寸法	幅78mm×高さ96mm×奥行98mm			幅72mm×高さ96mm×奥行45mm
材質	本体及び比色板:ポリカーボネート、検水ビン:アクリル樹脂、携帯ケース:軟質ビニール			

別売 Option

遊離残留塩素用試薬には、「DPD粉末試薬No.1」と「DPD液体試薬」があります。
又、結合及び全残留塩素測定には「DPD試薬No.2」があります。
「DPD粉末試薬No.1」は、25℃以下の冷暗所保存で、到着後、12ヶ月保存が可能です。
「DPD液体試薬」は、1A液と1B液の2本1セットで、保冷剤と保冷袋が付属しておりますので、冷暗所で保存してください。
冷蔵保存で6ヶ月、常温で2ヶ月の保存が可能です。
試薬はすべて別売りです。本体には付属致しませんので、別途ご購入ください。

遊離残留塩素用試薬

全残留(結合)塩素用試薬



安全に関するご注意 ご使用の際は、取扱説明書をよくお読みの上、正しくご使用ください。製品改良のため、仕様等は予告なく変更することがあります。

水道機工株式会社

SUIDO KIKO KAISHA, LTD.
http://www.suiki.co.jp

- | | | |
|--------|-------------------------------|-------------------|
| 本社 | 〒156-0054 東京都世田谷区桜丘5-48-16 | Tel. 03-3426-2131 |
| 東北支店 | 〒980-0811 宮城県仙台市青葉区一番町2-10-17 | Tel. 022-267-0807 |
| 東京支店 | 〒156-0054 東京都世田谷区桜丘5-48-16 | Tel. 03-3426-8111 |
| 名古屋支店 | 〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄2-9-26 | Tel. 052-204-3411 |
| 大阪支店 | 〒564-0063 大阪府吹田市江坂町1-23-26 | Tel. 06-6821-3505 |
| 広島支店 | 〒730-0015 広島県広島市中区橋本町10-6 | Tel. 082-223-1528 |
| 福岡支店 | 〒810-0073 福岡県福岡市中央区舞鶴1-1-3 | Tel. 092-713-7371 |
| 札幌営業所 | 〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西18-1-26 | Tel. 011-615-4230 |
| 秋田営業所 | 〒010-0951 秋田県秋田市山王2-1-40 | Tel. 018-866-5551 |
| 北東北営業所 | 〒020-0034 岩手県盛岡市盛岡駅前通15-20 | Tel. 019-652-6101 |
| 南東北営業所 | 〒980-0811 宮城県仙台市青葉区一番町2-10-17 | Tel. 022-267-0807 |
| 新潟営業所 | 〒950-0916 新潟県新潟市中央区米山4-1-23 | Tel. 025-246-2341 |
| 北陸営業所 | 〒920-0031 石川県金沢市広岡2-7-1 | Tel. 076-223-2950 |
| 四国営業所 | 〒790-0963 愛媛県松山市小坂5-4-18 | Tel. 089-934-5111 |
| 南九州営業所 | 〒892-0828 鹿児島県鹿児島市金生町4-10 | Tel. 099-219-3780 |
| 沖縄営業所 | 〒903-0821 沖縄県那覇市首里儀保町3-14-1 | Tel. 098-882-1283 |
| 機器事業部 | | |
| 厚木工場 | 〒243-0303 神奈川県愛甲郡愛川町中津4020-4 | Tel. 046-285-4011 |
| 営業課 | 〒156-0054 東京都世田谷区桜丘5-48-16 | Tel. 03-3426-2135 |

Suido Kiko

携帯型 残留塩素測定器

Mobile residual chlorine measuring instrument



ポサイドン DPD残塩チェッカー

特長 Advantage

- 1 低濃度まで正確に測定、広範囲測定が可能**
0~5.00mg/ℓの広範囲を0.02mg/ℓの低濃度範囲(濃度1mg/ℓ以下の場合)まで、デジタル表示できます。
- 2 遊離残塩、全残留塩素(結合塩素)の測定が可能**
DPD試薬の吸光光度法の採用により、DPD粉末試薬No.1又はDPD液体試薬とDPD試薬No.2を使い分けることで、遊離塩素と全残留塩素(結合塩素)の測定ができます。
- 3 デジタル表示で誰でも簡単に測定可能**
夜間や暗室でも測定できる見やすいLEDを採用、ワンタッチの簡単スイッチ操作で、スピーディーに測定できます。
- 4 高い実績と信頼性を誇る防水構造**
生活防水構造で、測定後のセルの洗い流しや雨天時の屋外などにも持ち運びが可能です。



動作説明 Operation

遊離残留塩素の測定手順

※DPD粉末試薬No.1(オプション)の場合

1. サンプル水をセルに入れ、ZEROスイッチON...捨水
2. 溶解瓶に粉末試薬を入れ、シリンジで10mlサンプル水を注入
3. 溶解瓶の蓋を締め、よく振って溶かした後、蓋を開けセル内に注入
4. READスイッチONで測定完了、測定後にセル洗浄

※DPD液体試薬(オプション)の場合

1. サンプル水をセルに入れ、ZEROスイッチON...捨水
2. 1A液・1B液を各1滴ずつセルへ滴下
3. サンプル水をスポイトで採水し2ml注入
4. READスイッチONで測定完了、測定後にセル洗浄

測定時の注意事項

- ① 遊離残留塩素はサンプル水をセルに注入して約15秒後に測定してください。
※注入直後は、空気がサンプルに混入しているため正確に測定出来ない場合があります。
- ② 測定前にはゼロ調をしてください(温度変化でゼロ調の値が移動します)。ただし、短時間に同じ検体を連続測定する場合には測定毎のゼロ調は省略できます。
- ③ 電池電圧が低下した場合は「---」が点滅しますので、新品電池と交換してください。尚、電池交換の際には、機器内部への水の浸入にご注意ください(故障の原因となります)。
※付属します電池(単5アルカリ)は、お試し用ですので、電池電圧が低下しましたら交換して使用ください。
- ④ ゼロ調時に使用した発色サンプル以下の濃度検体を測定した場合に「Lo」表示されます。(ゼロ調は、試薬添加前のサンプル水にて行ってください)
- ⑤ 高濃度のサンプルを測定した場合は「Hi」を表示します(サンプル水を希釈して測定してください)。
- ⑥ 長くご使用頂く為に測定後は、セル内を清水にて洗浄してください。セルが汚れた場合は付属の綿棒でアルコールまたは希塩酸を使用頂きセル内面を洗浄してください。

ポサイドン 水質比色検定器

特長 Advantage

- 1 取扱いが簡単**
円盤型の比色板を使用するダイヤル型と平板状の比色板を使用するポケット型の2種類があります。水中に残留している残留塩素量や水素イオン濃度(pH値)を、比色法によって最も簡単正確に測定する携帯型の検定器です。
(検定法は、試薬により発色させたサンプル水を比色板に埋め込まれた色見本との比色により判定するものです。)
- 2 永年使用ができます**
色見本は、色変わりにくい特殊着色樹脂製で、長期間正確な測定が行えます。
また、ダイヤル型では、本体レンズやプリズムが取り外しでき、簡単に洗浄が行えます。
- 3 互換性があります**
ダイヤル型では、比色板(回転板)は残留塩素用、pH用ともに同一の形状で互換性があり、交換することができる為、検定器1台で双方を測定できます。



ダイヤル型 (DP4)



ポケット型 (PP4)

動作説明 Operation

遊離残留塩素の測定手順

※DPD粉末試薬No.1(オプション)の場合

1. サンプル水をビーカーなどにとりシリンジで10ml採水
2. 溶解瓶に粉末試薬を入れ、シリンジで10mlサンプル水を注入
3. 溶解瓶の蓋を締め、よく振って溶かした後、蓋を開け検水瓶に注入
4. 検水瓶を本体へ入れ、回転板を回転させ、比色測定

※DPD液体試薬(オプション)の場合

1. 1A・1B各液を2滴ずつ検水瓶に滴下
2. サンプル水をビーカーなどにとりシリンジで10ml採水
3. サンプル水10mlを検水瓶に注入
4. 検水瓶を本体へ入れ、回転板を回転させ、比色測定